

各部署の取組

一 家庭教育部会

これからの社会を担う子どもたちが、身を痛めるようないじめや虐待などの被害にあふることのないように、子どもの命と人権を守る取組を地域ぐるみで進めることが喫緊の課題となっている。

そこで、市内の保育所(園)、認定こども(子ども)園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、各単位での後援会やPTAなどと連携し、家庭や学校における人権教育のさらなる充実と努めることにも、公民館をはじめとする社会教育諸団体の協力を得て、地域ぐるみの実践を推進する。

【重点目標】

- (1) 市人権教育推進PTA(後援会)の指定
- ① 児童小学校PTA
- ② 小松島高校PTA
- (2) PTA各後援会において、人権問題研修会の年一回以上実施
- (3) 人権教育推進PTA(後援会)における系統的学習の実施
- (4) 市人権教育学習級などの各種研修会の積極的な参加

二 社会教育部会

公民館および関係機関、諸団体との緊密な連携のもと、市民生活、生涯学習などの場で地域ぐるみの人権教育・啓発を推進し、住民一人ひとりの人権意識を高めるとともに、学校・家庭教育との連携を強化し、子どもの命と人権を守る取組を推進する。さらに人権教育推進員が中核となり、地域住民がより自主的に参加できるよう、できるだけ小単位(常会・班別など)の学習の場で、地域・生活課題と結びつけた学習内容の設定に努め、地域啓発の徹底をはかる。

- 【重点目標】
- (1) 指定公民館や団体による市人権教育・啓発研修大会の発表
- ① 南小松島公民館
- ② 児童公民館
- (2) 各公民館単位での地区別懇談会、小集団学習の開催
- (3) 市内各地域との交流学習、各種団体における学習の実施
- (4) 公民館利用団体等における研修の実施



市民の間に経済格差や、雇用・生活に対する不安が増大している。そこで、徳島公共職業安定所小松島出張所(ハローワーク)や小松島商工会議所をはじめ、市内の関係機関、諸団体との緊密な連携と協力のもとに、就職の機会均等を実現するとともに、「企業の社会的責任」が注目を高める国際的な動きを認識し、企業・職域における人権学習の場を拡充するなど、差別のない明るい職場づくりに努める。

また本協議会は、企業関係者を対象とした研修会を積極的に企画するなど、市内の企業との連携をさらに強化し、本会加入と企業・職域における人権問題研修の推進をはかる。

【重点目標】

- (1) 人権教育推進企業・職域の指定
- ① 徳島赤十字ひのみね総合療育センター
- (2) 各企業・職域内における人権問題研修会の開催
- (3) 市人権教育学習級などの各種研修会に積極的に参加
- (4) 市人振協と市内企業との連携を強化

「寄稿 今、私たちに求められるもの」

徳島県人権教育指導員 小笠泰史さん

「人権は、私たちが暮らしていく中で最も重要なものの一つである。」といった人権尊重の意識が着実に浸透してきています。地域・家庭・学校・職場など身近な日常生活において、自らの意識を高めて一人ひとりが人権教育・啓発の担い手となっていくことが大切であり、「じんけん文化の花を咲かせよう」を合い言葉に、差別をしない、許さない、安心して、安全に自由に暮らせる社会を共に作っていきましょう。そのための方向性を何点か示したいと思います。

人権問題研修会の紹介

四月一日(金)に、徳島赤十字病院において、新規採用職員研修会が実施されました。その中で、人権問題について、人権教育推進室の木村雅幸人権教育指導員が、「身近な差別と偏見」と題して、現代的な差別と言われる「マイクロアグレッション」を取り上げ、たとえ小さな攻撃であっても、それが社会に蔓延すれば深刻な差別につながるということを実例を示しながら話しました。また、自分がマイクロアグレッションの被害者になったときの対処方法や、加害者にならないための注意点についてもヒントを提



る、自尊心・自尊感情を育む教育を ○自分らしく生きる エンパワメント(元気にすること、力を引き出すこと、絆を育むこと)として平等で公平な社会を実現すること(ことに価値を見出すこと)のスキルを ○人間力の向上を、そして「豊かな人間性と感性を育む教育を」 「じんけん」、それは野に咲く花のようだと思いますか。野原にいっぱい咲き誇る花を見ると、とてもすがすがしい気持ちになります。でも、その花が誰かに踏みつけられるとしたら、それはとても悲しい、つらいことです。私たちは、自分らしい種をたくさん持つてこの世に生まれます。その種が差別や偏見で踏みつけられることもなく、自由にのびのびと花を咲かせていく...。そんな仲間づくり、そして生き方をしたいものです。「目配り」、「気配り」、「心配り」をもって、示すとともに、偏見や差別のない、誰もが幸せに暮らせる社会(地域・職場・学校等)づくりに向けて、今一度、人権尊重の視点から自身の考えや言動を問い直すことの重要性を問題提起して研修会のもととしました。



松明

第186号 毎月11日は小松島市の人権の日 発行所 ●小松島市 小松島市教育委員会 小松島市人権教育振興協議会

市人権教育振興協議会総会

「心豊かなひとづくり」を基本目標とし、一人一人の人権が尊重される明るい小松島をめざそう。

六月八日(水)サウンドハウスホールにおいて、本年度の小松島市人権教育振興協議会総会が開催されました。総会で話し合われた内容の概要を報告いたします。

全体会での協議

- ・前年度事業報告(三ページに掲載)
- ・前年度会計報告(二ページに掲載)
- ・監査報告
- ・役員改選(二ページに掲載)
- ・本年度事業計画ならびに予算審議(二ページに掲載)
- ・本年度基本目標ならびに努力事項

●基本目標

小松島市人権教育振興協議会は、「日本国憲法」、「同和对策審議会答申」、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」、「同法第7条の規定に基づく国及び徳島県基本計画」、「部落差別の解消の推進に関する法律」、「小松島市人権条例」、「小松島市人権教育・啓発に関する基本計画」などの趣旨に基づき、相互に基本的人権を尊重する民主的な社会を実現するため、市民総ぐるみで人権教育に取り組み、人権問題の早期解決をはかる。

その実現のための方策として、本協議会では小松島市第6次総合計画(平成28年度末策定)で掲げられた「心豊かなひとづくり」を基本目標に、「市民一人ひとりが、人権問題を自らの問題として捉え、考え、行動する活動」及び「人権尊重の精神や豊かな人権文化の育成」を推進する。

●努力事項

本協議会は、①家庭教育部会、②社会教育部

会、③企業・職域部会の3部会の活動を通して、全市民が人権問題を正しく理解し、自らの問題として解決するための研修と実践活動を推進するものである。

これまでの取組により、市民の人権問題についての正しい理解と認識も深まり、個人の尊厳と基本的人権尊重の精神も高まりつつある。しかし国内では、SNSやインターネットなどを利用した個人情報の漏洩や誹謗中傷、同和問題に起因すると思われる差別書き込みなどの人権侵害が後を絶たない現状がある。また、新型コロナウイルスに関する不当な差別的扱いや、一部の民族や国を排除しようとする差別的な言動などもあり、誤った社会意識や差別観念が現存している。海外に目を向けると、今このときも戦争・紛争などにより基本的人権を奪われ、また生命を失う人々がおり、個人の尊厳、生命が軽視されていることを見逃すことはできない。

そこで、本協議会ではこうした現状を厳しく受けとめ、これまで実践してきた教育・啓発活動において、さらなる広がりや深まりをもたせるとともに、同和問題の解決を人権教育・啓発の重要な柱ととらえ、あらゆる個人人権課題の解決をはかるための様々な取組を推進していく。そのために、関係機関および関係諸団体との連携協力のもと、次の事項に総力を結集する。

●具体的な活動項目

- 1 人権教育・啓発の推進
 - 市民一人ひとりが、人権尊重について、「自ら考え」、「理解を深め」、「自分の生き方の基本として身につけ」、日常生活のなかで「行動化(実践)」していくことが求められている。

そのためには、家庭教育部会、社会教育部会、企業・職域部会をさらに充実し、人権教育・啓発を推進しなければならない。

2 人権教育・啓発推進者の拡充と研修の強化
 人権教育・啓発活動においては、推進者の果たす役割はきわめて大きい。そこで、推進者自らが常に研修と実践を積むとともに、自分の考え方や価値観を問い直し、差別解消への強い決意と鋭い人権感覚や高い人権意識を身につけなければならない。

3 市民の相互の理解と連帯感の育成
 部落差別をはじめとするあらゆる差別解消のため、差別意識を支える予断と偏見を払拭し、真実を知り、互いの人権を尊重し合う社会の実現をめざさなければならない。本協議会は、市民相互の理解を深めるために、差別の現実にも深く学び、交流・交換学習会を積極的に推進するとともに、「人権教育学習級」や「人権問題講演会」、「こまつしま市民人権のつどい」などの市民が参加しやすい研修会を計画し、差別解消に向けた連帯感の育成に努める。

4 差別を受ける側に立った人権教育・啓発の推進
 人権問題解決のためには、差別を受ける側に立ち、現状と課題をしっかりと捉え、ともに差別と闘う意欲と実践力を養い、それぞれの立場で自らの人権を確立していく営みが求められる。隣保館事業や教育集会所活動、サークル活動、人権教育推進事業などの交流学習をはじめとする諸活動を充実し、自らが人権問題解決に向けての発信者となれるような人権教育・啓発を推進する。

5 広報活動、日常活動の強化
 実践的な啓発資料の作成に努め、啓発・広報活動を推進し、部落差別をはじめあらゆる差別の早期解決をはかる。市民が偏見・差別・人権侵害などの現実を見つめ、再点検するために、毎月11日の『市人権の日』の活動や、「広報こま

人権問題研修の状況 -2021 (令和3) 年度事業報告-

★ 本部事業 (一部割愛)

月日	研修活動	会場	人数
7月12日	公民館長・推進委員長・公民館副館長研修会	市保健センター2階	20
7月12日	市人権教育・啓発推進者研修会並びに第1回人権教育学級	サウンドハウスホール	93
8月18日	市人権問題講演会	サウンドハウスホール	81
11月8日	第4回人権教育学級	サウンドハウスホール	79
12月6日	人権尊重ポスター・標語展~12/10	小松島市役所玄関ホール	288
12月18日	こまつしま市民人権のつどい	サウンドハウスホール	87



こまつしま市民人権のつどい 12/18



市人権問題講演会 8/18

★ 企業・職域部会

企業名・職域名	回数	人数	企業名・職域名	回数	人数	企業名・職域名	回数	人数
ニホンフラッシュ株式会社	1	17	和田島郵便局	5	16	小松島金磯病院	1	12
株式会社山本鉄工所	1	8	金長だぬき郵便局	2	10	日本通運株式会社小松島事業所	1	15
小松島市役所	1	20	小松島郵便局	4	74	医療法人慈友会	1	90
赤石郵便局	4	12	中田郵便局	1	4	県発達障がい者総合支援センター	3	17
小松島病院	1	22	横須郵便局	2	10	ハナミズキ	2	54
株式会社豊徳	5	56	社会福祉法人小松島市手をつなぐ育成会	2	22	阿波銀行小松島支店	2	72
徳島県鉄鋼協同組合	1	13	みやま園	2	78	特別養護老人ホーム 千歳苑	1	7
徳島赤十字病院	1	55	日本青果包装株式会社	2	138	阿波銀行赤石支店	1	7
江藤病院	2	289	株式会社シケン	3	139			
坂野郵便局	8	33	徳島赤十字ひのみね総合療育センター	2	9			
共同港運(株)	2	8	立江郵便局	3	9			

★ 家庭教育部会

学校(園・所・館)名	回数	人数	学校(園・所・館)名	回数	人数	学校(園・所・館)名	回数	人数
中郷児童館	1	書面	小松島小学校	3	115	小松島南中学校	2	423
泰地児童館	2	書面	南小松島小学校	2	434	小松島高校	3	1133
目佐児童館	1	書面	北小松島小学校	3	50	小松島西高校	1	518
横須保育所	1	15	千代小学校	3	104	ひのみね支援学校	4	235
さかの認定こども園	1	14	芝田小学校	1	50	みなと高等学園	1	130
かもめ保育園	2	62	立江小学校	1	143			
こまつま健康会認定こども園	4	76	坂野小学校	4	61			
花しんぱり子ども園	1	17	和田島小学校	1	150			
南小松島幼稚園	1	8	新開小学校	2	65			
立江幼稚園	1	16	小松島中学校	4	744			

★ 社会教育部会

公民館・各種団体名	回数	人数	公民館・各種団体名	回数	人数
小松島公民館	3	29	榊公民館	1	200
北小松島公民館	3	322	和田島公民館	2	28
芝田公民館	1	24	新開公民館	1	9
立江公民館	3	54	中央会館	3	53

★ 昨年度の啓発活動実績

部会名	回数	人数
・全体本部事業	28	1,682
・家庭教育部会	50	4,563
・社会教育部会	17	719
・企業・職域部会	65	1,300
※総合計	160	8,264



市人権教育・啓発推進者研修会並びに第一回人権教育学級 7/12



北小松島公民館人権研修 10/5



人権尊重ポスター・標語展 12/6~12/10

事務局長	副事務局長	理事	副理事	顧問
山 下 中 野 勢 井 西 藤 渡 眞 谷 播 堀 藤 金 小 長 中	山 下 中 野 勢 井 西 藤 渡 眞 谷 播 堀 藤 金 小 長 中	山 下 中 野 勢 井 西 藤 渡 眞 谷 播 堀 藤 金 小 長 中	山 下 中 野 勢 井 西 藤 渡 眞 谷 播 堀 藤 金 小 長 中	山 下 中 野 勢 井 西 藤 渡 眞 谷 播 堀 藤 金 小 長 中
博 孝 保 正 啓 龍 理 良 康 孝 文 英 彦 人 子 仁 勇 宏 裕 二 之 章 勉 武 俊 雄	博 孝 保 正 啓 龍 理 良 康 孝 文 英 彦 人 子 仁 勇 宏 裕 二 之 章 勉 武 俊 雄	博 孝 保 正 啓 龍 理 良 康 孝 文 英 彦 人 子 仁 勇 宏 裕 二 之 章 勉 武 俊 雄	博 孝 保 正 啓 龍 理 良 康 孝 文 英 彦 人 子 仁 勇 宏 裕 二 之 章 勉 武 俊 雄	博 孝 保 正 啓 龍 理 良 康 孝 文 英 彦 人 子 仁 勇 宏 裕 二 之 章 勉 武 俊 雄
沖 勝 佐 三 蔭 福 福 武 吉 寺 近 井 米	沖 勝 佐 三 蔭 福 福 武 吉 寺 近 井 米	沖 勝 佐 三 蔭 福 福 武 吉 寺 近 井 米	沖 勝 佐 三 蔭 福 福 武 吉 寺 近 井 米	沖 勝 佐 三 蔭 福 福 武 吉 寺 近 井 米
野 藤 宅 岡 良 田 中 岡 谷 勢 弘 一 浩	野 藤 宅 岡 良 田 中 岡 谷 勢 弘 一 浩	野 藤 宅 岡 良 田 中 岡 谷 勢 弘 一 浩	野 藤 宅 岡 良 田 中 岡 谷 勢 弘 一 浩	野 藤 宅 岡 良 田 中 岡 谷 勢 弘 一 浩
建 高 文 祥 弘 正 貴 勢 一 誠 孝 幸	建 高 文 祥 弘 正 貴 勢 一 誠 孝 幸	建 高 文 祥 弘 正 貴 勢 一 誠 孝 幸	建 高 文 祥 弘 正 貴 勢 一 誠 孝 幸	建 高 文 祥 弘 正 貴 勢 一 誠 孝 幸
治 宏 幸 壽 知 典 充 一 誠 孝 幸	治 宏 幸 壽 知 典 充 一 誠 孝 幸	治 宏 幸 壽 知 典 充 一 誠 孝 幸	治 宏 幸 壽 知 典 充 一 誠 孝 幸	治 宏 幸 壽 知 典 充 一 誠 孝 幸

本年度の新役員 (敬称略)

つしま」の人権啓発コーナー・機関紙「松明」などの充実に向け、市民のさらなる人権意識を高める。また、関係機関、諸団体との連携協調のもとに、広報活動、日常活動の展開し、「心豊かなひとづくり」をめざした人権尊重のまちづくりに努める。

2021年度決算並びに2022年度予算

費目	2021年度決算額	2022年度予算額
市補助金	2,630,000	3,050,000
繰越金	19,861	17,409
雑収入	15	91
返還金	35,000	0
合計	2,684,876	3,067,500

費目	2021年度決算額	2022年度予算額
1 事務費	349,457	242,500
(1)会議費	3,833	12,000
(2)消耗品費	161,528	110,000
(3)役務費	184,096	117,500
(4)旅費	0	3,000
2 事業費	2,318,010	2,825,000
(1)推進者研修費	70,500	280,000
(2)調査研修費	0	180,000
(3)啓発活動費	2,206,371	1,875,000
(4)啓発資料費	11,139	240,000
(5)大会派遣費	30,000	250,000
合計	2,667,467	3,067,500

2022 (令和4) 年度事業計画

月	事業
4	人権研修報告等各種情報収集
5	市人振協会計監査 市人推協役員会 企業訪問
6	市人推協総会・専門部会 (8)
7	機関紙「松明」第186号発行 (5) 公民館長・推進委員長研修会 (25) 人権教育啓発推進者研修会 (25)
8	市人権問題講演会 (17) 人権尊重標語・ポスター審査会 (24)
9	人権教育学級① (9)
10	機関紙「松明」第187号発行 (5) 人権教育学級② (19) 市人振協現地研修会 (22)
11	人権教育学級③ (18) 啓発研修大会報告者説明会 (4) 市人権尊重作文・作品審査会 (22)
12	市人権尊重標語・ポスター展 研修大会原稿検討会・運営委員会 (14) こまつしま市民人権のつどい (4)
1	機関紙「松明」第188号発行 (5) 市人振協役員会② (11) 市人権教育主事・推進部総会・研修会 (13)
2	市人権教育啓発研修大会 (8)
3	機関紙「松明」第189号発行 (4/5)

